

2019 年 1 月 7 日

第 11 回「博報日本語交流プログラム」 海外参加校 応募受付開始

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第11回「博報日本語交流プログラム」(旧名称:「海外児童日本体験プログラム」)に参加する海外校の募集開始を本日、文部科学省 文部科学記者会にて発表しましたので、ここにご報告いたします。

2007年より開始した「世界の子ども日本語ネットワーク推進」事業は、事業内容をより理解しやすくするために、第11回より、事業名称およびプログラム名称を「博報日本語交流プログラム」に変更いたします。

今後とも、当財団へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

■ 当事業の目的

当事業は、日本語を大切にしながら異文化体験や国際交流を通じて、海外の生徒と日本の生徒がお互いの理解を深め、国際人として成長する機会を提供することを目的としています。

■ プログラム概要

「博報日本語交流プログラム」は、海外の中等教育機関(日本の中学校に相当)で日本語を学ぶ生徒を日本に招待し、日本校への訪問や同世代の生徒との交流、日本の文化・社会体験などを行います。

■ 応募資格

- 一 行政によって、正式な中等教育機関と認められている学校であること
 - 一 実施するプログラムの対象となる12歳～16歳の生徒に、正規の授業として日本語を指導していること
 - 一 生徒を引率する教師を本プログラム、および、事前研修の両方へ派遣できること 等
- ※このプログラムの参加決定と同時に、日本語教師を対象とした事前研修への参加も決定します
※過去の参加校も応募可
※詳しくは財団ホームページに掲載の応募要項にてご確認ください
財団ホームページ: <http://www.hakuhofoundation.or.jp/download/tabid/179/Default.aspx>

■ 助成内容

日本までの往復航空運賃、日本滞在中の宿泊・食事・活動費(研修費、交通費などを含む) 等

■ スケジュール

- 応募受付期間: 2019年1月7日～3月8日
結果通知: 2019年6月中(予定)
実施予定時期: 2019年11月11日～11月30日(予定) 海外教師日本研修
2020年3月11日～3月26日(予定) 博報日本語交流プログラム

事業およびプログラムの内容につきましては、財団ホームページをご覧ください。

この事業は、独立行政法人国際交流基金、公益社団法人国際日本語普及協会、呉鳳科技大学、スリランカ日本語教師会、土日基金文化センター、モンゴル・日本人材開発センター、ルーマニア日本語教師会などの協力によって実施されています。

博報財団(正式名称:公益財団法人 博報児童教育振興会)は、1970年、株式会社博報堂の創業75周年記念事業として設立されました。新公益法人制度の施行に伴い、2011年4月に公益財団法人として認定され、現在に至ります。次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成」「国際日本研究フェローシップ」「博報日本語交流プログラム」(旧名称:「世界の子ども日本語ネットワーク推進」)「博報財団こども研究所」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行っています。2018年度にはこれらに加え、新たに「博報教職育成奨学金事業」を設立しました。

◇ 公式ホームページ <https://www.hakuhofoundation.or.jp/> ◇

■ 本件に関するお問い合わせ先:

博報日本語交流プログラム (担当: 橋口・白尾)
TEL: 03-5570-5008 / FAX: 03-5570-5016
E-mail: hakuho.gn@hakuho.co.jp